

授業概要

本講では、日商簿記レベルの講義をします。授業では、春期「初級簿記」で学習した基本をもとに、さらに実践的な簿記を学びます。合計残高試算表と精算表の作成が完全にできることが目標です。11月に「日商簿記検定」の統一試験がありますので、その進度に沿った学習を組んでいきます。主に実践問題を中心に答案練習を行います。なお本講座は、「教養演習Ⅱ」と連携して学習します。

授業計画

第1回	簿記の意義と仕組み、仕訳と転記の仕方
第2回	決算手続き 現金過不足、当座借越契約、貸倒引当金など
第3回	決算手続き 費用収益の前受・前払、未払い・未収取引の会計処理
第4回	決算手続き 売上原価の算定仕訳、減価償却、貸倒引当金の会計処理
第5回	合計残高試算表の作成①決算整理前残高試算表の読み方
第6回	合計残高試算表の作成②決算整理前残高試算表と決算整理事項の仕訳整理
第7回	精算表の作成①決算整理事項の仕訳
第8回	精算表の作成②精算表の損益計算書と貸借対照表欄の金額算定方法
第9回	中間試験
第10回	仕訳と帳簿①現金出納帳、当座預金出納帳、小口現金出納帳
第11回	仕訳と帳簿②売掛金元帳・買掛金元帳の構造
第12回	仕訳と帳簿③商品有高帳：先入先出法と移動平均法
第13回	損益計算書と貸借対照表の作成① 初級問題
第14回	損益計算書と貸借対照表の作成② 中級問題
第15回	損益計算書と貸借対照表の作成③ 実践問題
第16回	定期試験

到達目標

日商簿記検定試験の合格レベルに到達すること。

履修上の注意

1. 春期「初級簿記」既修者が対象です。
2. 遅刻は交通機関の遅延のみ認めます。

予習・復習

学習方法

- ① 問題集を3回転、解答すること。
- ② 学習計画表を作成し毎日の学習時間を「見える化」する。
- ③ 『日本経済新聞』を定期購読し、毎朝1面、2面、3面は必ず目を通すこと。

評価方法

中間試験 40%、定期試験 60% 授業態度不良者は「不可」評価とする。

テキスト

- ・教科書名：2022年度版 スッキリわかる 日商簿記3級 本試験予想問題集
- ・著者名：滝澤ななみ 監修/TAC 出版開発グループ 編著
- ・出版社名：TAC 出版
¥1100